

(一財) 松本ものづくり産業支援センター

# NEWS

ものづくり産業支援の  
ワンストップサービスを  
目指します

第2号

平成30年12月発行

## 産業用ロボット等の 高度利用化の推進



カワダロボティクス(株)  
双腕型協働ロボット  
「NEXTAGE」



世界初35kg可搬ファナック(株)  
「緑のロボット」  
こんなに大きなロボットと  
人との協働も可能、  
安全柵が不要

## 目次

- 1 ものづくり支援活動トピックス ..... 3~7P  
杉本 守 ものづくり支援コーディネーター  
備前 章 ものづくり支援コーディネーター  
伝統木工技術の産業化支援、展示会出展支援
- 2 ICT拠点施設整備について ..... 8~11P  
基本設計完了  
サテライトオフィス募集  
施設名称募集
- 3 松本市補助金制度の活用 ..... 12~14P
- 4 講座・セミナー・研修会のご案内 ..... 15P

## ものづくり支援担当 新コーディネーターの紹介



豊口 稔 コーディネーター

### ご挨拶

この11月より、コーディネーター職を拝命いたしました。前職では、食品業界で、研究開発・品質管理・販売営業に携わって参りました。その間、多くの方々から教えをいただき、それが私の財産となりました。これからもそのご縁を大切に、少しずつ支援分野を広げ、皆様のお役に立てるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 主な支援内容

- ①企業間の強みを結びつけ、新価値創造を支援
- ②食品産業の商品開発・販路開拓支援
- ③各種展示会出展支援、新規市場開拓支援

## 杉本 守 ものづくり支援コーディネーター

### 1) 産業用ロボット等の高度な産業用機械分野の支援について

#### ロボット導入にはシステムインテグレーターがキーとなる

新松本市工業ビジョンで新たな重点分野として「産業用ロボット等の高度な産業用機械分野」が追加制定されました。

#### ●第116回 松本地域産学官交流ネットワーク： ロボットシステムインテグレーターによる講演

産業用ロボット等の高度な産業用機械分野の支援事業として、生産工程の自動化に関心がある企業様向けに、人との協働作業が可能な「協働ロボット」の現状を学ぶことを狙いとした講演会を8月29日（水）に開催しました。

愛知県のロボットシステムインテグレーター(RB Sler)であるIDECファクトリーソリューションズ(株)ロボットシステム事業本部 取締役部長 鈴木正敏氏による「協働ロボット活用セミナー ～協働ロボットが、モノづくり現場を変える！～」と題したご講演でした。

ご講演の中で協働ロボットを提供しているロボットメーカー(一部)が右の表のように紹介されています。

一方、ロボットも半完結製品でしか過ぎず、他にビジョンカメラ(2次元、3次元、検査用)、チャック・ハンド(固形物、柔軟物)、ロボットコントローラー(ティーチ

ング、人工知能)、力覚センサー(3軸、6軸)、周辺機器(コンベア、位置決め治具・センサー)、エリア制限(安全柵、人感知センサー)など多くの要素を最適に組み合わせ、顧客のニーズ(課題解決、安全、コスト、スピード)に答えるのがロボットシステムインテグレーター(RB Sler)の役割です。



協働ロボットの一覧 (日本市場)



メーカー	KUKA	ABB	Rethink	Universal Robots	FANUC	安川電機	川崎重工	川田	ライフロボティクス
製品	LBR iiwa7,14	YuMi	Sawyer	UR3,5,10	CR-4,7,35i	HC10	duAro	Nextage	CORO
構造	垂直多関節(7軸半関節)	垂直多関節(7軸半関節)	垂直多関節(7軸半関節)	垂直多関節(6軸半関節)	垂直多関節(6軸半関節)	垂直多関節(6軸半関節)	2カブ(4軸双腕)	垂直多関節(6軸双腕)	垂直多関節(6軸半関節)
本体重量	24~30kg	38kg	19kg	11~29kg	48~990kg	47kg	200kg	29kg	26kg
可搬重量	7~14kg	0.5kg	4kg	3~10kg	4~35kg	10kg	2kg(片腕)	1.5kg(片腕)	2kg
動作速度	1000mm/s以下	1500mm/s	約1000mm/s	1000mm/s	約1000mm/s	約1000mm/s	約1000mm/s	約1000mm/s	約2000mm/s
動作範囲	800~820mm	559mm	1260mm	500~1300mm	550~1813mm	1200mm	約900mm	約800mm	865mm
動作精度	0.1~0.15mm	0.02mm	0.1mm	0.1mm	0.02~0.08mm	0.1mm	0.05mm	0.03mm	1mm
モーター出力	80W以上	80W以下	80W以上	80W以上	80W以上	80W以上	80W以下	80W以下	80W以下
その他特徴	ならい動作可	人型	ならい動作可	UR+	-	ならい動作可	-	人型	射がない

※出所：製品のスペック、写真、会社ロゴは各社のHP及びヒアリングに基づく

## ●地域におけるSlerについて

製造業の自動化の更なる高度化のために2018年7月13日「FA・ロボットシステムインテグレータ協会」が設立されました。ロボット産業の国際競争力強化に向け、個社では無理な高度な自動化に「日本ならではの」の協業で挑戦することが、Sler業界の活性化と製造業の国際競争力強化に繋がると期待されています。また、この協会活動には「地域におけるSler連携」による相互啓発が地域ごとの産業振興政策として有効になることから「地域連携分科会」が設置され、中部地方と中国地方において先行的連携モデル実証がスタートしています。

一方、松本地域を見るとSlerは多くなく、製造業の個別課題解決に対応できていないのが実態です。松本地域製造業の底上げには、地域Sler連携による活性化と当地域ならではの視点・視座を持ったSler人材の育成が今後の重要テーマであると考えています。

## 2) 国、県、市等の助成事業申請支援

平成30年度 松本市製造業等活性化支援事業助成金 3社 採択  
 平成29年度 補正 ものづくり補助金 採択  
 平成30年度 長野県農商工連携支援基金助成金事業3次募集 採択  
 JAXA航空技術イノベーションチャレンジ 2018 Powered by DBJ 採択  
 (公財)テクノエイド協会 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 採択

## 3) 第8回世界健康首都会議（11月8～9日）でのブース展示

### ～長年支援してきた新事業開発テーマの成果発表～

#### ●ヤマカ精工株式会社

「ベビーリーフの無農薬  
水耕栽培方法の紹介と試食」  
(FARM HARUNA)

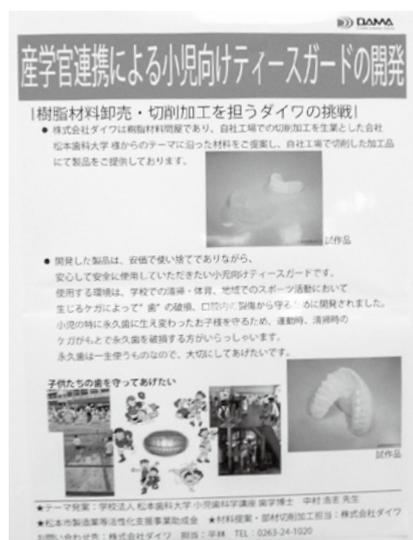
H26、H27年度 松本市製造業等活性化支援事業 を活用  
 H29年度 ものづくり補助金 を活用



#### ●株式会社ダイワ

「小児向けティースガード」

H28、H29、H30年度  
 松本市製造業等活性化支援事業 を活用



# 備前 章 ものづくり支援コーディネーター 人づくりのためのモノづくり支援

## 現場指導の近況と今後大切な視座

「人材育成」とは、  
きょう一日何で役立とうとしているかを自問でき、  
答えられる人を育てることである。(山田日登志 談)

当センターの重要な役割の一つに、松本市工業ビジョンの基本戦略の中の「ものづくり産業の基盤強化」と「未来を担う人材の育成」のための支援業務があります。言い換えれば、松本地域で活躍されているモノづくり中小企業様の持続的な発展のために、その製造力の土台を揺るぎなく確かなものにしていける若手社員／経営幹部の養成に貢献することです。

それでは、なぜ人づくりが大切なのでしょう？情報化の急伸により事業の種類やその大小に関わらず時勢の変化に対応しつつ事業の進展を担うのは、柔軟な思考力を持ち果敢に挑戦している若手の能力です。一方で、ある経済研究所の調査によれば、人材育成（社員教育）に活用される経費が売り上げの0.25%に満たない企業は、いずれ衰退または廃業の路を辿っているということです。

当センターではどのようなモノづくり支援（＝人材育成支援）をしているのか、主な2つをご紹介します。

## 1) “まつもと5Sプロジェクト” (当センター・松本商工会議所共催)

早3年が経過しました本プロジェクトもお陰様で累積14事業所の参画を得て、現在も支援を継続しています。当初から県登録専門家の平井勝則氏を招聘し、各社のニーズと実態に即した適格で厳しいご指導をいただいております。

(\*1) 平井氏作成の5S活動評価基準に従い、当該事業所の自己評価⇒社長評価⇒講師審査を経て銅賞→銀賞→金賞へとレベルアップしていく

社名	(社員)	業種	5S指導期間	5S授賞レベル(*1)
C社	(30名)	精密部品加工組立	1年(終了)	銅賞
N社	(50名)	開発試作品加工	1年半(終了)	金賞
M s社	(30名)	受託加工組立検査	1年(終了)	銅賞
S社	(20名)	楽器製造	6ヶ月(終了)	
MKセンター		工業振興	1年(終了)	
A社	(25名)	木工製品加工	2年～継続中	銀賞
T社	(50名)	大物金属加工	2年～継続中	銀賞
Y社南棟	(20名)	食材加工他	1年半～継続中	銀賞
Y社本社	(50名)	管理事務部門	1年～継続中	銅賞
Y社支店	(40名)	化学品販売他	半年～継続中	(銅賞審査中)
M m社	(30名)	土木資材加工	半年～継続中	(銅賞審査中)
K u社	(30名)	鉄工	半年～継続中	
M a社	(15名)	食品加工販売店	3ヶ月(中断)	
K a社	(25名)	印刷	3ヶ月～継続中	

このような個社指導に加えて、講師出前講座による5S委員会の活動支援や優秀モデル事業所に参集いただく実地セミナーも適宜開催しています。

なお、平井勝則講師からは次のようなメッセージをいただいております。

- ・5S活動が活発な会社は、経営TOPが強い関心を持って活動に関わっている
  - ・5S活動を通じて職場内、会社内のコミュニケーションが自律的に活発になってくる
  - ・女性が主導するエリアは女性らしいアイデアが発揮され、改善も早い特長がある
  - ・5S推進リーダーによる報連相が上手く回っている企業では経営業績が停滞しない
  - ・認定レベルが上がるに従って、一人ひとりの意識が安全衛生、生産効率、経費削減へと移行していく
  - ・参加企業間の交流が出来るとう活動内容の充実、視野・知識・アイデアの拡大が図れる
  - ・生産活動の基本である5S活動すら出来ていないのに今旬のIoT、AIを導入しても失敗する。
- 5S活動とIoT活用を戦略的に融合する事が望ましいと思う

小規模事業所だからこそ全員でできる、大きな効果が産み出せる、望外に人が育つなど多くの事業所様から評価をいただいています。一方で支援側からは各社各様の5S活動を通してその社風、理念、管理力、人知などの実態が透けて診え、更に多岐にわたる支援の必要性を感じとることができます。今後も平井講師のご示唆を参考にしながら“m-5Sプロジェクト”を継続進化して参ります。

**「(5Sなどによる)ムダ取り」とは、  
自然とともに調和のとれた豊かさを保つ、工夫と動作である。」** (山田日登志 談)

## 2) “第2期 次世代現場リーダー研究会” (松本機械金属工業会・松本商工会議所共催)

各社の将来を託された若手11名(10社)の受講生を迎え、この11月で1か年に及んだ相互研鑽が修了となります。月1回参加各社を巡り、そこで提示された課題についての議論を重ね、KJ法/特性要因図法/系統図マトリックス図法などで対応策を整理し発表し合いました。各社現場の最前線で重責を担っている若手管理監督者が日々抱えている課題は概ね次のようなものです。

- ・品質確保に対する方法や部下の意識づけ
- ・作業標準書の有効活用とそのメンテナンス方法
- ・単品加工での生産性向上、又は小ロット/中ロット製品への生産方式のシフト
- ・他職場との連携による作業の効率化
- ・5S活動の継続・維持やスペースの有効活用
- ・トラブルを解消するための、職場内のコミュニケーション作り
- ・多能工化と社員全体の能力(段取り・スピード)の向上
- ・若手社員への仕事の教え方

これらは参加メンバー共通の課題であり、それぞれから出された自社事例、経験知、改善策、及びリーダーが故の悩み事や失敗例など多岐に亘る研修成果を得て、毎回「YWTシート」にまとめられて上司報告されています。また各回の中で備前CDからは次のような内容を教示しました。

- ・監督者に必要な五つの条件
- ・工場運営の基本
- ・問題解決手法
- ・グループ討議方法(KJ法、特性要因図法、系統図マトリックス図法 他)
- ・仕事の教え方(TWI-JI:作業分解/作業教育計画)
- ・プレゼンテーションの仕方
- ・QC検定3級演習
- ・5S活動
- ・I字型と逆T字型リーダー
- ・権限曲線と失敗の力 等

第3期も予定されています。第2期生からはリーダーシップやものづくり基礎の深掘りなどメンバーによる課題の自主的な研究をしたいなどの意見もいただいています。

**「学んだことを即やりたくなる人になれ。  
学んだことを自社のどこへ適応できるか探ることが、  
学んだこと以上に重要だ。」** (山田日登志 談)

## 3) 人づくり個別課題解決について

当地におけるこれからの中小企業のキーワードを挙げておきます。

●中期/強い固有技術/若手社員の将来

例: 浜野製作所(東京墨田区:社員45名)では、「ガレージスミダ」を開設して学生の創業を支援。  
今春に天皇陛下がご高覧。

●ダイバーシティ経営

例: 川田製作所(小田原:社員24名)では、障がい者6名、外国人研修生6名、高齢者6名を同等賃金で雇用。  
新・ダイバーシティ経営企業100選に。

- グローバル化対応  
TPPと6次産業は川下からやってくる。社内担当者の養成。
- 産学官金連携+支援機関同志の広域連携  
リスクマネジメントの備えができる人材の養成。  
AI/IoTの研究と導入を担える人材の養成。

「付加価値とは、人間につくもんですよ。  
みなさん、付加価値はモノにつくと思っ  
ていますが、それは違うんですよ。」  
(山田日登志 談) 出典:「常識破りのものづくり」(山田日登志 他著: NHK出版)

## 伝統木工技術の産業化支援

### 市内ギターメーカー5社が松本駅東西自由通路にギターを展示

「ギター生産日本一松本」を掲げ、昨年に引き続き、今年も8月から「フジゲン・ディバイザー・スギミュージック・モーリス・セイレン」の5社がリレー方式で、2カ月単位で展示しています。

江戸時代から引き継がれている木工技術が育てたギター生産は松本が全国の37%、20億円を生産しています。高級品はアメリカ・ドイツ・東アジア諸国に輸出され多くの著名アーティストや愛好家に使用されています。松本産の桜、杉、松くい虫による松枯れ材のアカマツなど、地域に結び付いた材を使用した製品が製作されています。松本駅へお立ち寄りの際は、是非、ご覧ください。



## 展示会出展支援

### 展示会出展のメリット

～待ちの営業から攻めの営業へ～

各地で開催される展示会に出展し、自ら開発した新製品・技術・サービスを紹介し、販路開拓等ビジネスマッチングを促進しましょう。また、購入者の具体的な反応や意見を直接現場で確認し、事業促進に生かしましょう。

## 平成30年度「松本市製造業等販路拡大支援事業補助金」支援状況(予定含む)

補助金額 国内展示会25万円/海外展示会50万円

- 支援企業数 / 20社
- 展示会数 / 23件(うち海外3件、パリ/フランス、台北/台湾、上海/中国)
- 出展企業内訳 / 食品製造4社、電子機器4社、機械器具3社、楽器製造4社、その他5社

「平成31年度分補助金」公募が開始されます。H31(2019)年2月1日~28日の予定で、松本市ホームページで公開されます。応募詳細については、ご相談ください。

# ICT拠点施設整備について

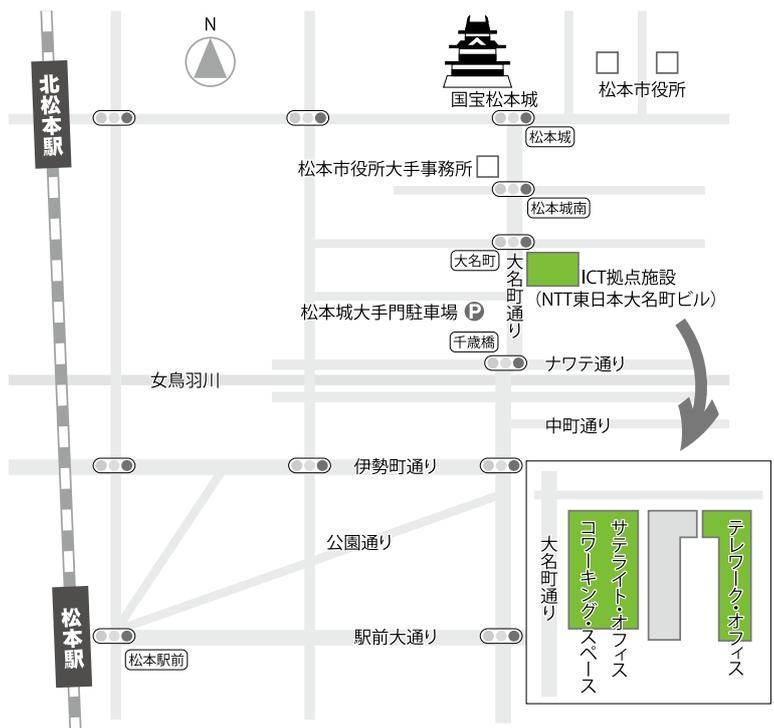
## ICT拠点施設の基本設計が完了しました

松本ものづくり産業支援センターでは、松本市工業ビジョンに掲げる基本戦略「ICT（情報通信技術）の活用による地域産業の振興」を推進していくための拠点として、松本市の中心市街地「大名町通り」に立地する「NTT東日本大名町ビル」内に、松本市の支援のもと、「ICT拠点施設」（仮称）を**平成31年11月にオープン**します。

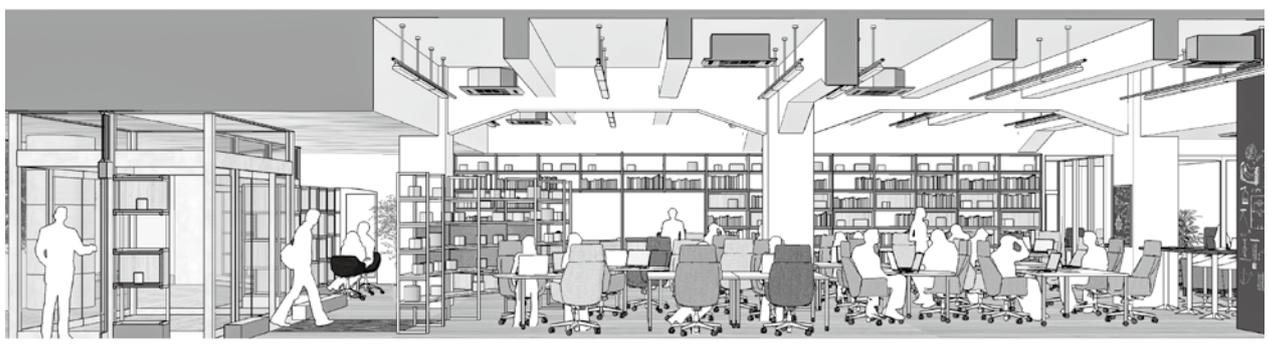
「ICT拠点施設」では、都市部を含む県内外の企業、地域の起業家らが入居する「サテライトオフィス」、時間や場所にとらわれない、新しい働き方を実践する「コワーキングスペース」、子育て世代の女性などをワーカーとして登録し、企業から業務を受注する「テレワークオフィス」の3つの機能を一カ所に集約し、それぞれが相互に連携しあうことにより相乗効果が生まれる「Co-innovation」空間の創出を基本理念としています。

この「ICT拠点施設」の設計に当たっては、平成30年8月に公募した「設計プロポーザル」審査を経て、株式会社アーキディアックを設計事業者として選定し、運営支援事業者の凸版印刷(株)、市内外の企業や有識者へのヒアリング結果を参考としながら、業務を進めてきました。

「ICT拠点施設」のオープンを1年前にして、平成30年10月末に基本設計が完了しました。今後は実施設計と平行し、サテライトオフィスへの入居企業の募集、施設の名称募集など、オープンに向けた動きを加速していきます。

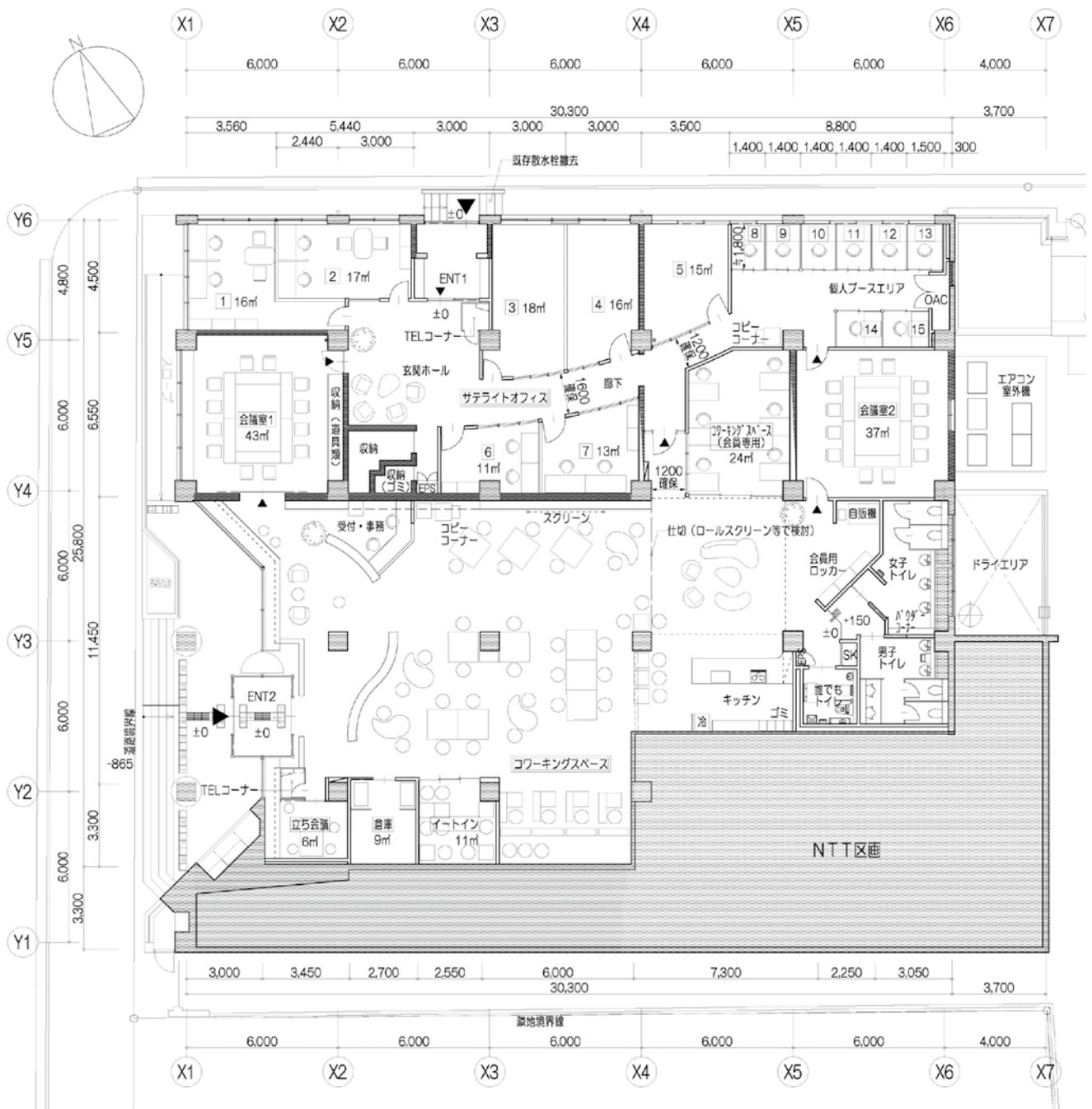


### ●内観パース (コワーキングスペース)



## ●コワーキングスペース、サテライトオフィス

- ・ 図面下部（南側）がコワーキングスペース
- ・ 常時20人から30人のワークスペースから、セミナーやイベント時には50人から60人の利用も想定した可変性のある空間
- ・ フロア内に併設するキッチンを使ってコミュニケーションを高めたり、キッチンイベントの実施も可能



- ・より集中して作業をしたいユーザーのため、個別ブースや、会員専用の区画など、様々のシーンを想定したニーズに対応
- ・日々の使い勝手を重視し、イートインコーナーや、充実した会議室
- ・図面上半分（北側）がサテライトオフィス
- ・1～7番が2から4人程度の利用を想定したオフィス、8～15番が個人の起業、スタートアップ支援を想定した「個人ブース」区画
- ・各区画にはスマートキーによる高いセキュリティの確保、情報コンセントを敷設
- ・オフィスは365日、24時間利用可能

## ●テレワークオフィス

- ・1～4番が作業スペース。区画ごと異なるクライアント業務を想定
- ・電気錠と監視カメラによる高いセキュリティを確保
- ・小さいお子さんを持つワーカーが安心して働くことができるよう、託児スペースを併設

### テレワーク導入を支援します

テレワークを活用することで、人手不足への対応や、働く人が働き方の選択肢のひとつとして選ぶことができる場を提供します。

私たちが応援します！



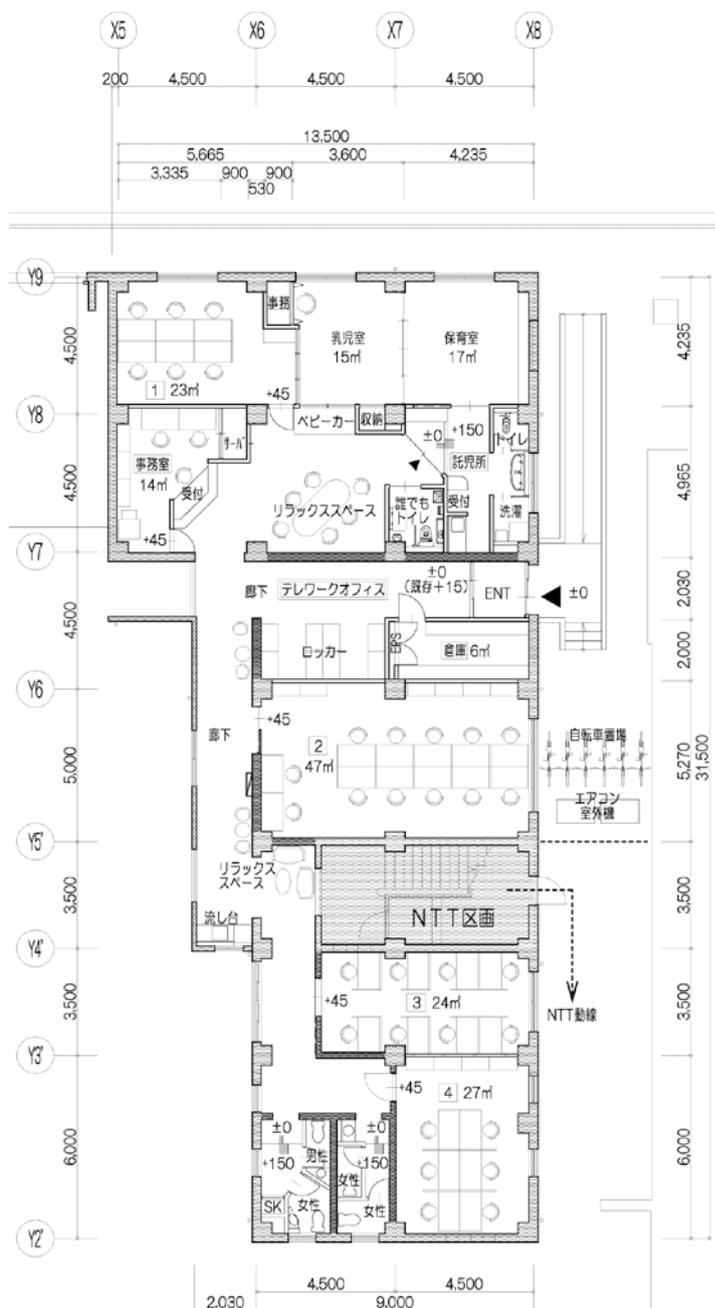
テレワーカー

企業さま

例えば、

こんな業務を依頼できます。

- 文章入力、データ入力、テープ起こし校正、名簿入力
- プレゼンテーション資料作成、伝票整理 等



## サテライトオフィスの入居企業を募集中

「ICT拠点施設」では、サテライトオフィスに入居し、同じく入居する企業や個人、コワーキングスペースのユーザーや地元企業、地域住民とコラボレートし、ビジネスに取り組む企業の入居を募集します。

高いセキュリティと快適な通信環境を提供し、利用者相互のコミュニケーションを促進するためコミュニティマネジャーが、入居企業の皆さまの活動を支援します。

主なファシリティ、サービスは次のとおり

- ①サテライトオフィスは24時間入退室可
- ②光回線による高速インターネット環境
- ③専用の郵便受け
- ④事務所の登記可
- ⑤各区画の電子錠によるセキュアな環境
- ⑥外からの呼び出しに対応するインターフォン
- ⑦会話が外から聞き取りにくい電話コーナー
- ⑧商談にも利用できる会議室 3部屋を整備
- ⑨サテライトオフィス専用の複合プリンター
- ⑩併設するコワーキングスペース（約350㎡）の利用可
- ⑪コミュニティマネジャー、職員によるコミュニティ・ビジネスアレンジの支援
- ⑫隣接するテレワークオフィスワーカーへのアウトソース
- ⑬入居企業には1年間半額の家賃補助

## 「ICT拠点施設」名称を募集します

より多くの皆さんに親しみを持っていただくため、「ICT拠点施設」の名称を公募により決定するものです。沢山のご応募をお待ちしております。

募集期間	平成31年1月末まで（2月から審査、3月にリリース予定）
募集する名称の内容・条件	(1)施設のコンセプトや特徴がイメージできるもの (2)親しみやすく覚えやすいもの (3)他の名称や商標に類似していないもの (4)自作の未発表のもの
賞	最優秀賞にはコワーキングスペース半年、優秀賞には3カ月の利用権
応募方法	(1)応募方法は、メール、郵送、Faxとします。 (2)応募にあたっては、次の必要事項を明記してください。 ①郵便番号、②住所、③氏名（フリガナ）、④性別、⑤年齢、 ⑥電話番号（日中ご連絡が可能な番号）⑦名称
お問合せ・応募先	（一財）松本ものづくり産業支援センターICT支援担当まで



# 松本市補助金制度の活用

新分野・異分野への  
展開を考えてみたい。

自社の技術を  
積極的にアピールして、  
販路や顧客を  
開拓したい。

工場が手狭になり、  
増築をしたい。

松本市では、新しい松本市工業ビジョンに基づき、会社の今後を見据え、新しく何かにチャレンジしたいとお考えの企業の皆様に応援するため、補助金助成金制度を各種ご用意しております。

## 販路拡大支援事業補助金

販路拡大のためには、地道な営業もちろん重要ですが、展示会、商談会を活用することで、経費、時間とも大きく削減が可能です。

国内外で開催される展示会・見本市に自社で製造・開発した製品や技術を出展し、新市場の開拓や販路の拡大を求める場合の出展料（小間料）等を補助します。

自社の技術を積極的にアピールして、販路や顧客を開拓しようとする方は、どうぞご活用ください。

**補助対象者** 製造業またはソフトウェア業を主たる事業とする方で松本市内に主たる事業所を有する中小事業者およびそのグループ等

**補助内容：補助額**

<p>国内（長野県外）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●展示会：25万円（上限）</li> <li>●補助対象経費：出展料、装飾備品等借上料（補助率10/10）</li> </ul>	<p>海外</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●展示会：50万円（上限）</li> <li>●補助対象経費：出展料、装飾備品借上料（補助率10/10）</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>展示品等の輸送に係る経費</li> <li>展示会場における通訳に係る経費</li> <li>印刷物等の翻訳に係る経費</li> <li>展示会説明員の渡航費</li> </ul> </div> <div style="font-size: 2em;">}</div> <div style="margin-left: 10px;">（補助率1/2）</div> </div> <p><small>※出展料、借上料は主催者等に支払うものに限ります</small></p>
---	---

**その他** 限度額以内であれば、単年度複数回の申請も可能です。  
他支援機関等補助金との併用も可能です。

## 人材育成事業補助金

企業の将来のためには、社員一人一人の力を底上げして企業として成長することが不可欠です。企業の皆様の人材育成を推進し、経営力・技術力の強化を図ることにより、地域の製造業者が厳しい経済環境を乗り越え、活性化していくことを目的とした、人材育成に関する補助制度です。

**補助対象者** 市内に主たる事業所を有する製造業またはソフトウェア業に属する事業者

**補助内容** 経営力の強化、技術力の向上のため、社員に次の団体が実施する研修を受講させる場合

**補助対象となる人材育成事業**

<ul style="list-style-type: none"> <li>●独立行政法人中小企業基盤整備機構関東支部・中小企業大学校三条校</li> <li>●公益財団法人長野県中小企業振興センター</li> <li>●公益財団法人長野県テクノ財団</li> <li>●独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部</li> <li>●松本商工会議所</li> <li>●一般財団法人松本ものづくり産業支援センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長野県工業技術総合センター</li> <li>●長野県松本技術専門学校</li> </ul>
---	--

**補助額等** ●受講料の1/2以内（1企業上限10万円/年、受講者1人につき2.5万円を限度）

## 活性化支援事業助成金

常に新分野・異分野へチャレンジすることは、次の経営戦略で選択肢を大きく広げることとなります。独創的な新技術・新製品の開発による地域産業の活性化を目的に、市内中小事業者等が大学や、公設試験研究機関等と連携して共同研究・開発を行う場合や、産々連携・農商工連携等により新分野・異分野への展開を図る場合の経費の一部を助成しています。新技術開発や、新規分野にチャレンジしようとお考えの方はどうぞご相談ください。

助成対象事業	産学共同研究事業：大学・公設試験研究機関等との共同研究・委託研究・技術指導を受けて行う研究開発事業 新産業創出事業：異分野への進出、新分野への参入のため、新技術・新製品の開発を図るため、単独又は他の企業と連携して行う研究開発事業 特定産業育成事業：以上のうち、医療、健康、食料品製造、産業用ロボット等、成長産業や本市の地域特性を生かした産業分野に係る事業
助成対象者	製造業またはソフトウェア業を主たる事業とする方で松本市内に主たる事業所を有する中小事業者およびそのグループ等
助成内容	
助成対象経費	●共同研究費、直接人件費 等
助成額等	●上限100万円（助成率1/2） ※特定産業育成事業の場合は、上限200円（助成率2/3）

## 空き工場等活用事業補助金

空き工場等を活用して、製造業等の起業、新商品・新技術の開発等をされる等、特定の事業者等に工場等の賃貸料を補助する制度です。

補助内容	
補助要件等	前の入居者が退去した後または物件が完成した後3カ月を経過しても入居者が決まらない工場、事務所等の施設（現状変更等により工場、事務所等として使用する施設を含む）
補助額等	●家賃の1/2以内、上限8万円（月額）
補助期間	●12カ月を限度

## 工場等設置事業助成金（松本市商工業振興助成金）

特定地域等に工場等を新設、移設または増設する事業者を支援する助成制度です。

助成内容	
交付要件	●投下固定資産総額が5,000万円以上の施設
助成額等	●固定資産税相当額（3年間）

※投下固定資産とは、工場等建設のため、新たに取得する資産のうち、減価償却資産（建物、機械及び装置等）の取得に要する経費

# 先端設備等導入計画

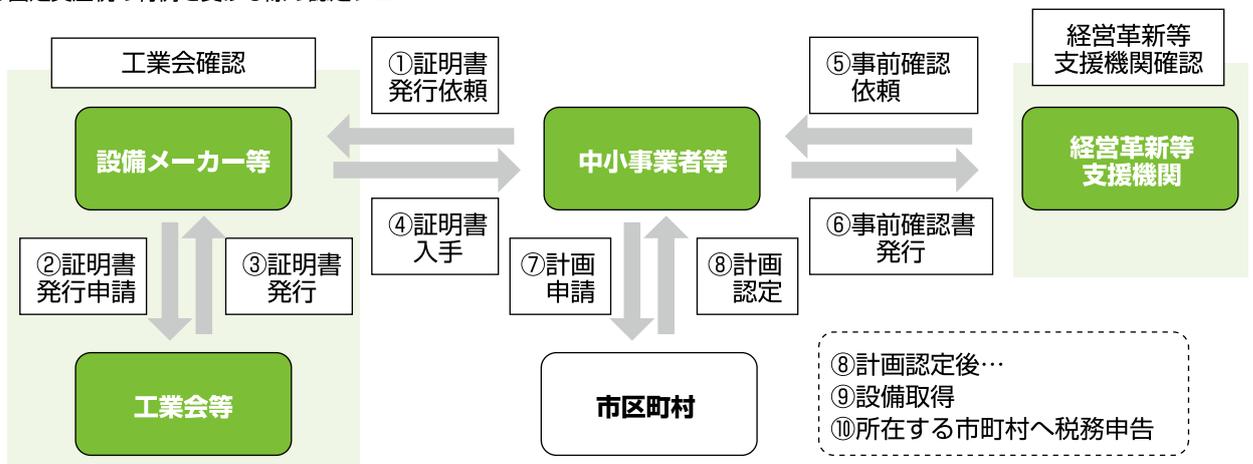
「先端設備等導入計画」とは、松本市先端設備等導入基本計画に基づき、中小企業・小規模事業者等が、設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための計画です。市から「先端設備等導入計画」の認定を受けた場合、税制措置、金融支援、国の予算支援（補助事業の優先採択等）を受けることができます。  
※詳細については松本市ホームページをご覧ください。

## 税制措置（固定資産税の特例）について

先端設備等導入計画の認定を受けた、中小企業者のうち、以下の一定の要件を満たした場合は、地方税法及び松本市税条例に基づき、対象の固定資産税（償却資産）の課税標準額が松本市においては3年間ゼロに軽減される特例を受けることができます。

項目	内容
対象設備	生産性向上に資する指標が旧モデル比で年平均1%以上向上する以下の設備 【減価償却資産の種類（最低取得価格/販売開始時期）】 ○機械装置（160万円以上/10年以内） ○測定工具及び検査工具（30万円以上/5年以内） ○器具備品（30万円以上/6年以内） ○建物附属設備（※）（60万円以上/14年以内） ※家屋と一体となって効用を果たすものを除く
その他要件	生産、販売活動等の用に直接供されるものであること 中古資産でないこと
特例措置	「先端設備等導入計画」の認定以降、平成33(2021)年3月31日まで

### ●固定資産税の特例を受ける際の認定フロー



#### ●お問い合わせ

松本市役所商工観光部商工課 工業振興担当  
〒390-0874 松本市大手3丁目8-13 電話.34-3270

#### ●制度利用のご相談、お問い合わせ

（一財）松本ものづくり産業支援センター  
〒390-1242 松本市和田4010-27 電話.40-1000

## 講座・セミナー・研修会のご案内

## 消費税増税前に知っておきたい!「下請け取引講習会」(無料)

適正な下請け取引は、下請事業者の利益保護を図る目的から、中小企業政策の重要な柱となっており、中小企業・小規模事業者にとって事業の根幹にかかわる重要事項です。今回の講習会では、①下請代金支払遅延等措置法、②消費税転嫁対策特別措置法について分かりやすく解説します。

- 日 時/2019年1月29日(火)  
①13:30~15:00  
②15:10~16:40
- 場 所/松本商工会館 4階会議室  
(松本市中央1-23-1)
- 締切り/2019年1月16日(水)、定員20名
- 講 師/専門の弁護士(予定)

■お問合せ:松本商工会議所 ものづくり支援グループ TEL.32-5350 <https://www.mcci.jp/>

## ブランディングセミナー「ブランディング戦略の構築」

～主体性がある社員が増えて  
企業力が伸びる  
中小企業ブランド化戦略～

- 日 時/2019年2月6日(水)、20日(水)、  
3月6日(水) 全3回  
13:30~16:30
- 場 所/(一財)松本ものづくり産業支援センター  
研修室(松本市和田4010-27)
- 受講料/20,000円(テキスト代・税込)
- 定 員/20名
- 講 師/(株)ウェブエイト 小林 聖也氏

■お問合せ:松本市中小企業能力開発学院(松本商工会議所) TEL.32-5350 <https://www.mcci.jp/>

## 「新入社員教育講座」

2019年度、  
新入社員を迎える事業所の皆様へ

- 日 時/2019年3月27日(水)、28日(木)、  
29日(金)  
9:30~16:30(予定)
- 場 所/長野県松本勤労者福祉センター
- ほ か/募集に関わる詳細は、決定次第(1月頃)、  
ホームページにてご案内いたします。

■お問合せ:松本市中小企業能力開発学院(松本商工会議所) TEL.32-5350 <https://www.mcci.jp/>

## 募 集

## 第3期「次世代現場リーダー研究会」のご案内

松本商工会議所では、松本機械金属工業会の会員企業の現場力強化を目的に、将来を期待されている製造現場や管理現場におけるリーダーの養成と現場改善を目的に、第3期となる「次世代現場リーダー研究会」(新年以降スタート)を企画しております。これまで2期にわたり、参加企業の多くから好評をいただいている研究会に、是非ご参加をお待ちしております。尚、詳細は下記までお問い合わせください。

■お問合せ:松本商工会議所 ものづくり支援グループ  
TEL.32-5350 <https://www.mcci.jp/>

研究会の内容・様子(例)



- プレゼンテーション ●工場見学
- ディスカッション ●まとめ (1回3時間程度)

## 関係機関 (市外局番0263)

松本市 商工観光部 商工課 工業振興担当 / 健康産業・企業立地課  
TEL.34-3270 FAX.34-3008 TEL.34-3296 FAX.34-3297

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ  
TEL.32-5350 FAX.32-1482

長野県地域ジョブ・カードセンター  
TEL.50-8260/8261 FAX.50-8945

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構  
TEL.37-2091・3527 FAX.37-3049

(公財) 長野県テクノ財団 アルプスハイランド地域センター  
TEL.40-1780 FAX.47-3380 (長野県松本合同庁舎内)

## (一財) 松本ものづくり産業支援センター (まつもと情報創造館 1F)



## (一財) 松本ものづくり産業支援センター

〒390-1242 長野県松本市和田4010-27  
TEL.0263-40-1000 FAX.0263-40-1001  
ホームページ <http://www.m-isc.jp/>

松本ものづくり産業支援センター

検索

クリック!

松本ものづくり産業支援センターNEWS  
第2号 (平成30年12月)  
発行/松本ものづくり産業支援センター  
印刷/株式会社プラルト